

工場主ハ 寄月九日以来板木縣下ニ敗國ルト称シ所在シ者  
海ノ居リ 一切ヲ小室支那人ニ一任シ形勢ヲ觀望シ居シリ

三、労働事故

人客月二十七日午後八時頃示威運動ヲ爲人ヘレト工場表門ニ  
押寄セ洋傘ヲ以テ硝子戸数枚ヲ破壊シタル關係者六名ハ所  
轍向島署ニ検索シ内

中央一般労働組合北部支部執行委員 因田勝藏 当年  
幼木穢工

笠岡 茂 当年

1四名ハ之ヲ拘留处分ニ付セリ

2、七月二日午後八時三十分演説会ヒラク無断貼付セル

爭議用負 桐谷萬藏 宋廿七

1兩名ハ全様之ヲ検索セリ

右及申(通)無理也

別記

然々東京幼木製作所社員員立十名本既に司日立亘て工場主山田誠一郎と対峙して  
強烈な争議を繕続してゐる紙とは何故争議を起さなければならなかつたか? 望  
ゆほ二十六日 山田つかやか日毎セドアだな木の櫻庭道者たる従業員と皆田舎  
う引びつてまで、自ら若茶につき彼の夫 工場で力を使ひようと筋氣くねうと  
二人などと本おかよひなし専今近隣セナツとわたりニ卫門三水大何十人の生靈  
化靈した、りぬもあり拂御く満足を先づ方から出来やう筈がない  
俺達は今一ヶ月三十日位しが勤めさせり 然る氣の時大半イヤカルのき葉煙火燈  
徹夜を施諸して努力せしめたくせん迎頭では傭りかぢないからと毎週日曜の外止暇  
も休まセ、今度生産金伍下宣言七十名の首領と彼らと元ふ人たそつゝ健葉直  
き強烈的大仕合せてあき乍ら奇術徳序の連中三月賃ヒ第一日セありやしない全く文  
字通牛馬の如き大年中雇用でつち供つての如人ただから甚筋は疲劳と营养不良の  
左めへりく剛水石仕事大だ思怪は工場が欠損つゝがだからと傭りかぢがるが  
それより亦なソシだ俺達を絶ぜたへのやうに賃金ヒコキ使つておれで傭かれ  
ない人たゞぐぐりたつて承知出来らハ 次の見積りではセイタ一腳の仕上は  
一切の材料と資金を算入して八十枚位しかかくておなハ筈だ乞水ヒ二回、三十枚  
でカリと少してらんだ乞水ヒ二回して傭らなリ人た鬼だのことを一々況ひ立  
てなくたつて諸君には甚の壯道振りをよく承知のこと、思ハ諸君大差し乞水がわ  
かりつてゐるなう今度の架橋は甚難しく腰大してく水 倭達本族してセイタウシ  
えろ? て言ふにない人た何不しい、喰ヒニマサレば我慢するんだ我慢して  
来た人々 倭達を生々く行けとやうにさせて莫れー、倭達と勝てせて莫れを云々<sup>ト</sup>  
かに鬼じの聲名を單にか解次すらあて金額太イコットしろ! そして心臓と××

社愁狀道の怨せイと折りのめせー、  
争議用を勝たせろー、